

「週休3日」で働く

—世界各国に広がる週4日勤務制・トライアル事例—

🔑

週休3日導入制

週4日勤務制

圧縮労働時間制


ワーク・ライフ・バランス

労働生産性向上

担当

村田 弘美

グローバルセンター長 / 主幹研究員





概要

週休3日制は導入できるのか。いま世界中で広く議論され、欧米9カ国の自治体や世界各国の企業がトライアルを実施している。本レポートでは、各国のトライアルの導入目的、プログラムの内容、その評価や成果など、さまざまな週4日勤務制の事例を紹介する。制度は3つのタイプに大別されるが、欧州企業の多くは、勤務時間や勤務日数を削減するが、従業員の努力で仕事の質を下げず、また報酬も下げないという理想を実現していた。

問題意識

週4日勤務制(週休3日)は、新しい働き方の1つの選択肢として世界的に広く議論されており、特に欧州では主要な政治的課題になりつつある。アイスランドの成功を受けて、2022年にはスペイン、スコットランド、アイルランド、デンマークなど各国でパイロットプログラムが実施されている。

日本においては、2021年6月に政府の「経済財政運営と改革の基本方針」が多様な働き方の実現に

向けた働き方改革の実践として、選択的週休3日制度の導入促進、普及を掲げた。近年になって、制度を導入、検討する企業も増えつつある。これまでは子育て中の従業員やシニアなど一部の対象者に限定しているところが多かった。最近では、人材採用を目的としたものや、繁忙期の労働時間を調整して柔軟に対応するものなど、従業員個人が働き方を主導する制度も見られる。

結論

週休3日制の3つのタイプ

	A 圧縮労働型	B 労働日数/時間・報酬削減型	C 労働日数/時間削減・報酬維持型
労働日数/週	5日→4日(減少)	5日→4日(減少)	5日→4日(減少)
労働時間/週	変わらない	減少	減少
勤務形態	休日を1日増やした分、1日の労働時間を増やす 例)1日10時間×週4日=週40時間	1日の労働時間は変わらない 例)1日8時間×週4日=週32時間	1日の労働時間は変わらない 例)1日8時間×週4日=週32時間
休暇(曜日)	選択制または固定制	選択制または固定制	選択制または固定制
給与額	変わらない	減少 労働時間に合わせて給与削減	変わらない 但し、業績により変動する場合あり
副業	認めるまたは認めない	認める企業が多い	認めるまたは認めない
導入企業	ファーストリテイリング、リクルート、佐川急便	IBM、銀行など金融業界(週休3~4日)	欧州企業、マイクロソフト
特徴	1日あたりの労働時間が長くなるため、時間・健康管理が必要	育児・介護・学習支援。一方、人件費抑制目的の企業もあり	代替人材など、企業のコスト負担が発生することもあり。トライアル中の企業もあり

出所) 筆者作成

本研究は、週4日勤務制のトライアルを実施した、アイスランド、デンマーク、スウェーデン、スペイン、アイルランド、米国、カナダ、ベルギー、英国などの自治体と民間企業57社の制度の内容とその効果について調査した。

導入理由は、全員一律のルールではなく、個人の働き方の自由度を高める「働き方改革」、労働時間の削減、個人のキャリア形成サポート(能力開発、学位取得、副業)、ワーク・ライフ・バランスの実現、余暇の充実(地域貢献、休息、自由時間)、シニアの再雇用、仕事のシェアリング、など企業により異なる。

導入企業の実施状況を見ると、週休3日制は大きく3つのタイプに分類される。1つ目は、週の労働時間や業務量の総量は変えない「A. 圧縮労働型」、2つ目は、週の労働時間や業務量を削減し、それに給与などを対応させる「B. 労働日数/時間・報酬削減型」、3つ目は労働日数・労働時間を削減し、給与などは変えない「C. 労働日数/時間削減・報酬維持型」である。Cは欧州企業に多い(図表)。他には当初から週4日の労働契約をする時短やパートタイ

ムの社員制度、また従業員自らが労働時間を調整して取得するケースもある。

欧州企業の特徴は、働き方の未来をつくるために、各所で労働時間を短縮してもクオリティと報酬を維持するためのセルフイノベーションが起きたことである。また、トライアル実施後に、本格導入した例のほか、導入を見送った例もあり、雇用主と労働者の双方が見極めるためのよい機会にもなっている。今後は全員一律のルールで働くのではなく、業務の性質や個人の状況に適した柔軟な働き方について本格的な見直しをする必要があるだろう。

Works Reportはこちら

「週休3日」で働く

<https://www.works-i.com/research/works-report/2022/four-day-workweek2022.html>

